

[2004]九州大学情報基盤センター年報 : 2004年度

<https://doi.org/10.15017/4776948>

出版情報 : 九州大学情報基盤センター年報. 2004, 2005. 九州大学情報基盤センター
バージョン :
権利関係 :



第11章 運用規則等

11.1 研究用計算システム利用負担金表

区 分		負 担 金 の 算 定 基 準		
従量制負担金	基本負担金		利用登録1件につき (1月未満の端数があるときは、その端数を切り上げる。)	1月当たり 500円
	スーパーコンピュータ	演算負担金	バッチ処理 1件の演算時間のうち 5分まで	1秒(1秒未満の端数があるときは、その端数を切り上げる。以下この表においても同じ。)につき 2円
			5分を超え15分まで	1秒につき 1円
			15分を超え	1秒につき 0.4円
			会話型処理 1件の演算時間	1秒につき 2円
		ファイル使用負担金	使用期間 1日当たり 100メガバイトまで	1メガバイト(1メガバイト未満の端数があるときは、その端数を切り上げる。)につき 2円
			100メガバイトを超え10ギガバイトまで	100メガバイト(100メガバイト未満の端数があるときは、その端数を切り上げる。)につき 10円
			* 10ギガバイトを超える部分については負担金を徴収しない。	
	高性能演算サーバ	演算負担金	バッチ処理 1件の演算時間	1秒につき 0.02円
			会話型処理 1件の演算時間	1秒につき 0.02円
		ファイル使用負担金	使用期間 1日当たり 100メガバイトまでの場合	無料
			100メガバイトを超え100ギガバイトまでの場合 100ギガバイトを超え500ギガバイトまでの場合 500ギガバイトを超える場合	200円 1,000円 5,000円
	スカラー並列サーバ	演算負担金	会話型処理 1件の演算時間	1秒につき 0.02円
		ファイル使用負担金	使用期間 1日当たり 100メガバイトまで	1メガバイト(1メガバイト未満の端数があるときは、その端数を切り上げる。)につき 2円
			100メガバイトを超え10ギガバイトまで	100メガバイト(100メガバイト未満の端数があるときは、その端数を切り上げる。)につき 10円
			* 10ギガバイトを超える部分については負担金を徴収しない。	
	多目的サーバ	ファイル使用負担金	使用期間 1日当たり 100メガバイトまでの場合 100メガバイトを超える場合	無料 200円
出力負担金		プリンタ用紙	1頁につき	4円
ワークステーション負担金		使用時間	1分(1分未満の端数があるときは、その端数を切り上げる。)につき	3円
消費税		上記各区分に従い算出した利用負担金の合計に100分の5を乗じて得た額		

備考

1 スーパーコンピュータ演算負担金の項中バッチ処理を並列プログラムで利用する場合の負担金については、各演算時間中その最長の演算時間を基にして算出するものとする。また、スーパーコンピュータを17並列以上のプログラムで利用する場合の負担金の算出基準は、同項に規定する演算時間の区分に従い各々その単価の2倍とする。

2 ファイル使用負担金は、スーパーコンピュータ、高性能演算サーバ、スカラー並列サーバ及び多目的サーバそれぞれのディスク使用量を基にして算出する。

3 利用負担金は、利用者の登録番号(利用者番号に支払いコードを加えたもの)別に月ごとに集計する。

スーパーコンピュータ 定 額

(スーパーコンピュータ、スカラー並列サーバが利用できる。)

1. 年 間 定 額

利用登録1口につき

利用負担額(年間)	利用可能負担金換算額
200万円	1,000万円

2. 演 算 定 額

利用登録1口につき

利用負担額	利用可能負担金換算額
10万円	50万円

高性能演算サーバ 定 額

(高性能演算サーバが利用できる。)

3. 資源占有タイプ

利用登録1口につき

CPU数	割り当てメモリ量	割り当てディスク容量	利用負担額(年間)
32	128GB	1,600GB	240万円
16	64GB	800GB	120万円
8	32GB	400GB	60万円
4	16GB	200GB	30万円
2	8GB	100GB	15万円

注: 資源占有タイプは、割り当てられた計算機資源を占有して利用できる。

4. 資源共有タイプ

利用登録1口につき

コース名	利用負担額(年間)	利用可能負担金換算額
Aコース	200万円	1,000万円
Bコース	100万円	500万円
Cコース	50万円	250万円
Dコース	30万円	150万円
Eコース	20万円	100万円
Fコース	10万円	50万円

注: 資源共有タイプは、計算機資源を共有し利用額が利用可能負担金換算額まで利用できる。

備考

1 定額制の利用申請は、一登録番号につき1の年間定額から4までの資源共有タイプの定額制の内一つとする。ただし、一人の利用者で登録番号が異なる毎に複数の利用申請ができる。

2 定額制負担金の利用負担額及び利用可能負担金換算額は消費税を含む。

3 定額制の利用は、定額制負担金表中の利用負担金を支払うことにより従量制負担金を基に算出した合計の利用額が当該年度内に利用可能負担金換算額になるまで利用できる。
ただし、2の演算定額は、従量制負担金の演算負担金に限り適用して算出し、それ以外は従量制負担金を基に算出する。

4 利用額が利用可能負担金換算額を越えた場合は利用を打ち切りとする。
ただし、1の年間定額、2の演算定額及び4の資源共有タイプについて、申請期間中であれば追加申請を受け付ける。

5 利用額が利用負担金換算額に満たない場合の翌年度への繰り越しはしない。

施行年月日

平成17年4月1日

11.2 研究用計算システム制限値

スーパーコンピュータ VPP5000/64 (kyu-vpp)

適用ジョブ	キュー	CPU 時間	メモリサイズ		備 考
			省略値	最大値	
バッチジョブ	s	1 時間	2GB	7GB	非並列短時間
	s8		2GB/PE	7GB/PE	8 並列短時間
	p1	20 時間	2GB	14.5GB	非並列
	p8		2GB/PE	7GB/PE	8 並列
	p16				16 並列
	p32				32 並列
	x8		10GB/PE	15GB/PE	8 並列大容量メモリ
	x16				16 並列大容量メモリ
TSS ジョブ	—	1 時間	1GB		ベクトル演算可

高性能演算サーバ IBM eServer p5 モデル 595 (kyu-cc) の制限値

適用ジョブ	ジョブ クラス名	計算時間	メモリサイズ	プロセス数	CPU 数	備 考
バッチジョブ	e1	1 週間	3GB	1	1	非並列処理
	e2		6GB	1	2	OpenMP, 自動並列化用
	e4		12GB	1	4	OpenMP, 自動並列化用
	e8		24GB	1	8	OpenMP, 自動並列化用
	e16		48GB	1	16	OpenMP, 自動並列化用
	ms		3GB/プロセス	16	16	MPI 専用
	mm		6GB/プロセス	8	16	MPI 専用 (1 プロセスあたり 2 スレッド並列可)
	ml		12GB/プロセス	4	16	MPI 専用 (1 プロセスあたり 4 スレッド並列可)
TSS ジョブ	—	1 時間	1GB	—	—	16CPU の資源を共有利用

スカラー並列サーバ GS320 (kyu-ss) の制限値

適用ジョブ	キュー	CPU 時間	メモリサイズ	備 考
TSS ジョブ	—	40 時間	16GB	32CPU まで使用可